

令和2年 甲州市議会 6月定例会

市政の概要

令和2年6月定例会の開会にあたり、議員各位には、提案いたしました議案のご審議をいただくことに対しまして、心から敬意と感謝を表すものであります。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策及び支援策についてご説明を申し上げるとともに、市政の概要について述べさせていただきます。

まず、今般の新型コロナウイルス感染症により、お亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表するとともに、罹患された方やそのご家族に心からお見舞いを申し上げます。また、昼夜を問わず最前線で対応されている医療従事者の皆様に対し、厚くお礼を申し上げます。

新型コロナウイルスの世界的感染拡大は、科学史上、人類が初めて経験しているもので、専門家の方によりましても、今後の展開の予想は困難であり、その終息は不透明な状況であります。

本市の感染症拡大防止対策としましては、これまでに8回の対策本部会議を重ね、感染症拡大防止に関する情報収集に努めるとともに、広報や市ホームページ、防災行政無線、CATVを通じて、市民の皆様へ情報提供を行ってまいりました。

また、感染症拡大防止を最優先課題とする必要があることから、春のイベントであります、えんざん桃源郷桃の花まつり、甲州市ふるさと武田勝頼公まつり、甲州市体育祭り、塩山地域

一斉河川清掃等を中止としたところでもあります。

また、秋のイベント開催につきましては、各実行委員会に市の方針をお伝えし、開催の可否について検討をしていただいたところでもあります。それにより、フルーツマラソン大会につきましては、全面的に中止、ぶどうまつりにつきましては、神事と鳥居焼のみを実施、また、およっちょいまつりにつきましては、商工会がとりまとめ、近く最終判断されると伺っております。大変残念ではありますが、一刻も早く感染症が収束し、来年度は開催できるよう願うものであります。

次に、小中学校の再開についてであります。

4月9日午後から休業としておりましたが、5月14日に緊急事態宣言が解除され、県立学校等が再開する中、この感染症と共に生きていかなければならないという認識と子供たちの健やかな学びを保障することの両立を図っていくことが重要であることから、万全な感染症対策をとる中で25日から再開したところでもあります。

次に、公共施設の状況についてであります。

図書館や文化施設、体育施設等の公共施設についても、県が発表しております感染症拡大防止のための協力要請に基づき、消毒の徹底やチェックシートによる防止対策の実施、利用者へのヘルスチェックシートによる体調の確認など万全の対策を行った上で、条件付きで開館をしております。

また、ぶどうの丘につきましては、感染症拡大防止のため、一部施設の休館に続き、4月20日から全施設休館の対応を行ってまいりましたが、今月1日から、感染症拡大防止ガイドラインに基づき安全対策を講じた上で、営業を再開したところでございます。

先行きが見通せない中、これまでの経営水準を取り戻していくことは容易ではありませんが、多くのお客様に安心してお越しただけの施設として、創意工夫を図り経営の強化に取り組んでまいります。

去る、5月25日には全国で非常事態宣言が解除されました。しかし新型コロナウイルス感染症への対応は長期にわたることを覚悟しなければならない、第2波、第3波は必ず来るとも言われております。

これからは、日常生活と感染症拡大防止対策を両立していかなければなりません。収束を願いつつも、現況をしっかりと見つめ感染症拡大防止対策をこれまでと同様に気を緩めることなく「新しい生活様式」を実践していただけることを切に願います。引き続き、市民の皆様のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

次に、国の経済対策及び市の独自支援策についてであります。

国では、「国民の生命と生活を守り抜き、経済再生へ」として新型コロナウイルス感染症緊急経済対策が決定されており

ます。本市の支援策としましては、4月の臨時会では、まず子育て世代の皆様の経済的支援と市内の商工業者の皆様が事業を継続していけることを優先課題として、小中学校の給食費、保育所等の副食費、児童クラブ使用料の無償化及び商工振興資金融資制度の全額利子補給等や疲弊している市内飲食店への補助事業を、また、5月の臨時会では、国民一人あたりに10万円を支給する特別定額給付金給付事業、子育て世帯へ1万円を支給する子育て世帯臨時特別給付金給付事業、生活困窮者支援のための住宅確保給付金事業、飲食店の利用促進支援「無尽でお助け、めざせ100億円キャンペーン」事業及び休校中の児童・生徒への学習機会確保のためCATV授業放送事業等を上程させていただき、いずれも議会でのご議決をいただきましたので、各事業を実施しておるところでございます。

なお、特別定額給付金給付事業の状況であります。オンライン申請につきましては先月13日から、郵送での申請につきましては6月1日から受付を開始しております。本日までの振り込み世帯は3千22件、振込金額が7億7千640万円となっております。

続きまして、主な施策につきまして申し上げます。

まず、はじめに、防災についてであります。

情報発信力の強化として市ホームページを改修するとともに、地域防災力の向上という観点から危機管理アドバイザーを

採用してまいります。なお、これらの経費につきましては補正予算として上程したところであります。

これから、梅雨、台風シーズンとなりますが、災害時等には必要に応じた避難所の開設が想定されます。その場合は、新型コロナウイルス感染症対策を講じる必要がありますので、担当部門に対し、適切な対策の検討を進めるよう指示したところであります。庁内の連携をもって防災・感染症対策に取り組んでまいります。

次に、健康づくりについてであります。

高齢化が進む中にあっても、健康寿命を延ばすことにより、人生100年時代の健やかな暮らしを実現するために、高齢者保健事業と介護予防事業の実施の重要性が高まっております。その足掛かりとして、後期高齢者に対する健康診断を高齢者の特性を踏まえた形に整え、医療・介護情報を併せ総合的に把握した上で、切れ目のない支援を行うための枠組みを構築してまいります。

次に、障害者総合計画についてであります。

「障害のある人と共に歩み、安心して暮らせるまち、甲州」を基本理念とした第2次総合計画の計画期間が本年度末となっていることから、甲州市障害者自立支援協議会が中心となり、検証等を行う中で「第3次甲州市障害者総合計画」を策定してまいります。この計画により、障害の有無にかかわらず、市民

誰もが相互に人格と個性を尊重し支えあう地域社会の実現に向け、障害者の自立と社会参加の支援等のための施策の一層の推進を図ってまいります。

次に、母子保健計画についてであります。

「すべての親と子が健やかで心豊かに暮らせるまち こうしゅう」を基本理念として、平成27年度から10年の計画期間で推進している甲州市母子保健計画「すこやか親子こうしゅう」の中間評価を実施したところであります。本年度は計画期間の後半がスタートしておりますので評価結果の検証を行うとともに国や県の動向を踏まえながら課題の解決に向けた取り組みを進めてまいります。

次に、介護保険事業についてであります。

昨年度に実施しました高齢者を対象としたニーズ調査結果をもとに、令和3年度から5年度までを計画期間とする「甲州市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画」を策定してまいります。今後も、高齢者が住み慣れた地域で健康でいきいきと自分らしく充実した暮らしを送る、人生100年時代を見据えた介護保険事業に取り組んでまいります。

次に、農業施策についてであります。

今般の新型コロナウイルス感染症拡大により、農林水産業にも影響が広がっております。さくらんぼ、モモ、ブドウの出荷

シーズンとなり、今後、消費者や市場の動向に変化が生じることも予測されますので、その状況を注視するとともに、市ホームページ等を通じて国や県等の支援策に関する情報を提供してまいります。

また、昨年度発生したモモの「せん孔細菌病」対策として、農家の皆様に薬剤購入費の助成を行うなど、防除対策の支援をさせていただきました。この取り組みを結実させるため、JAや県、関係機関等と連携し対策を講じてまいります。

次に、塩山駅周辺都市再生整備事業についてであります。

塩山駅前広場等の再整備事業を行い、歴史まちづくり計画と都市計画マスタープランとの整合性を踏まえ、駅周辺の活性化を図ってまいります。本年度は、塩山駅南口駅前ロータリーの整備を実施してまいります。

次に、道路整備についてであります。

安全で災害に強いまちづくりのため、社会資本整備総合交付金事業により、新設道路の整備をはじめ、交通弱者を事故から守るグリーンベルトの設置や狭あい道路の解消事業を行い、生活基盤の強化を図ってまいります。

農道整備につきましては、農道下岩崎 12 号線改良事業など、老朽化した農道の拡幅改良や舗装工事を行い、基幹産業である農業の生産力の向上と農村集落の保全を図ってまいります。

次に、水道・下水道事業についてであります。

4月から簡易水道事業が上水道事業へ統合され、新たに甲州市水道事業としてスタートしております。昨年度に策定いたしました「甲州市水道ビジョン及び経営戦略」に基づき、適切な事業運営を行ってまいります。現在進めております「塩山地域、勝沼地域の水道整備事業」につきましては、本年度、小田原地区に配水池を建設予定であります。今後も、安全安心な水を継続的に供給できるよう、計画的に整備を行ってまいります。

また、下水道事業につきましても、4月から公営企業化し、豊かな自然・水環境を後世に残すことができるよう、経営の透明性、健全性の向上に努めてまいります。

次に、小中学校のICT化推進事業についてであります。

国が提唱する教育のICT化に向けた環境整備計画でありますGIGAスクール構想に基づき、児童・生徒1人1台の端末整備を行い小学校におけるプログラミング教育の必修化に対応してまいります。

次に、東京オリンピック事前キャンプ関連事業についてであります。

東京オリンピックの開催は、来年7月に延期されましたが、フランスハンドボール代表チームから来年の大会前には予定通り事前キャンプのために、本市を訪れる旨の連絡が届いております。本年度も機運の醸成に向け、フランスにちなんだ各種

教室やオリンピックの講演会等を予定しております。

次に、釈迦堂遺跡博物館についてであります。

昨年度リニューアル工事を実施しました、釈迦堂遺跡博物館につきましては、延期しておりましたリニューアルオープンを今月 21 日に開催する運びとなりました。

最後に、本市の令和 2 年度当初予算につきましては、義務的経費や経常的な経費を中心とした骨格予算でありましたので、今回、政策的経費や新規事業などの経費を計上した肉付け予算として 7 億 5 千 4 百 72 万 2 千円を追加し、歳入歳出の総額を 199 億 2 千 863 万 9 千円とする補正予算を上程させていただいております。厳しい財政運営の中ではありますが、限られた財源の重点的、効率的配分など創意工夫を行う中で、人口対策、子育て支援、教育・福祉、商工観光・農業振興、生活関連社会資本の整備など、重要な行政課題に的確に対応する事業の着実な推進を図ってまいります。

以上、私の所信の一端と新型コロナウイルス感染症対策及び主要な施策の概要を申し述べさせていただきました。今後も、甲州市の更なる発展のため、全力で取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いするものであります。